

8-1-1 対外活動委員会

1. 対外活動委員会の概要

(1) 対外活動委員会の活動目的

建設コンサルタントの現状と課題を踏まえた、発注者に対する「要望と提案」、その根拠資料としての【調査資料集】、それらを説明するための概要版の作成、及びこれに基づく発注者との意見交換を主な活動としている。

(2) 委員の構成

「要望と提案」と【調査資料集】に各部会及び各支部の意見が反映されることを意図し、対外活動委員会の委員は各部会代表委員会及び各支部代表で構成している。加えて、委員会での議論に基づき、「要望と提案」と【調査資料集】の原案をなるべく対外活動委員会の委員自身が執筆するため、「要望と提案」と【調査資料集】の内容に直接関連する委員会委員長も委員としている。

2. 主な活動の記録

(1) 意見交換会の開催と「要望と提案」の作成

令和4年度は対外活動部会において、a)各地整と地整管内自治体及び沖縄総合事務局、b)道路会社4社（東・中・西日本高速、首都高速）と(独)水資源機構、c)国総研と(独)土木研究所 d)国土交通省本省の4種の意見交換会を行った。

これらの意見交換会の種類毎に、昨年度の「要望と提案」の内容をベースに、取り巻く環境の変化や最新の实態調査結果を踏まえて、「要望と提案」と【調査資料集】を当委員会ならびに各関係委員会が中心となって更新・作成した。

(2) 委員会等の開催

4回の対外活動委員会と各対外活動WG(道路会社向け、水資源機構向け、国総研・土研向け)を開催した。対外活動委員会はすべて白書委員会との合同開催とし、主に令和4年度地方ブロック向け、ならびに令和4年度の道路会社向け等の「要望と提案」、【調査資料集】の内容を協議した。

(3) 「要望と提案」、【調査資料集】及び概要版令和4年度地方ブロック意見交換会「要望と提案」、【調査資料集】を作成するとともに、「要望と提案」及び【調査資料集】の概要版を作成した。

令和4年度地方ブロック意見交換会「要望と提案」、【調査資料集】及び概要版は、令和3年度と令和4年度前半における対外活動委員会での協議、常任理事会・運営会議の意見、対外活動部会の意見、及び本部・支部意見交換会での意見を踏まえて以下のような項目について作成した。

- | |
|--|
| <p>I. 担い手の確保・育成のための環境整備
【建コン協 働き方改革 スローガン:完全週休2日・深夜残業ゼロの実現(長時間労働の解消)】</p> <p>(1) 建設産業全体の働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取組み推進・強化
(2) 受発注者協働による災害対応に向けた継続的な環境改善
(3) 企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備
(4) 人材確保・育成、新たな事業推進形態の環境整備</p> <p>II. 技術力による選定
(1) (国)プロポーザル方式・総合評価落札方式等の適確な運用・改善
(2) (地方自治体)発注方式の改善
(3) (国・地方自治体)地域の担い手づくりのための地域コンサルタントの活用の拡大と育成</p> <p>III. 品質の確保・向上
(1) 受発注者それぞれの役割を踏まえたエラー防止への取組み
(2) 詳細設計及び三者会議等における総合的な品質の確保
(3) 維持管理・更新事業等における技術的課題解消に向けた発注契約方式などの改善</p> <p>IV. 「DX推進の環境整備」と「成長と分配の好循環の実現」
(1) DXの推進
(2) DX推進の費用面での環境整備
(3) 「成長と分配の好循環」の実現</p> |
|--|

【調査資料集】A4判 約230ページで構成
概要版 A4判PPT 約70ページで構成

3. 次年度の活動について

次年度も、今年度と同様の活動を継続する。
(対外活動委員会委員長 中村 哲己)